

地区別活動状況

界面科学部会

九州地区の紹介



平成 22 年度物理化学インターカレッジセミナー 兼 日本油化学会界面科学部会九州地区講演会報告

去る平成 22 年 11 月 27、28 日の両日、油化学会界面科学部会の九州地区講演会を兼ねる物理化学インターカレッジセミナーが福岡大学セミナーハウスで 56 名 [講師 3 名；一般(教員を含む) 14 名；学生 39 名] の参加により開催されました。福岡大学、佐賀大学、長崎国際大学、福岡工業大学など九州各地から、また遠方からは立命館大学等からの参加がありました。発表は、特別講演 3 件、大学院生および学部生による口頭発表 6 件とポスター発表 12 件が行われました。

特別講演として、福岡工業大学教授の三田肇先生より、「アミノ酸・ペプチドの化学進化」という題目で、隕石に含まれるアミノ酸の組成やアミノ酸共重合体から成るマイクロファイアの構造解析など、宇宙科学からみたコロイド、界面科学についてお話していただきました。

九州工業大学助教の毛利恵美子先生は、「自由界面で形成する高分子グラフト微粒子膜の構造と物性」と題してご講演をいただきました。分子量がそろったポリマーをグラフト重合した微粒子の気/水及び油/水界面での粒子膜形成における物性について学生にもわかりやすく講義していただきました。

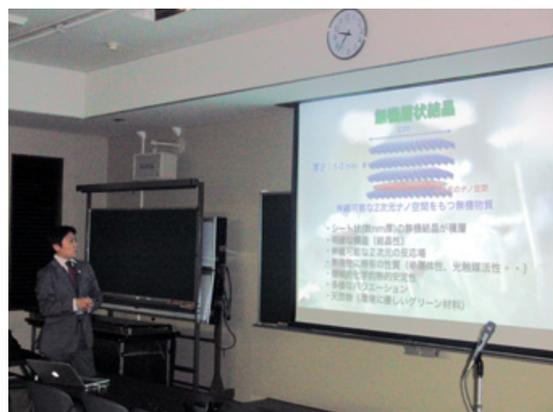
2 日目は、福岡工業大学准教授の宮元展義先生による「無機ナノシート分散液の液晶性」という題目の講演でした。従来の有機物液晶とは異なる無機物からなるナノシート液晶の基礎から応用に至るまで丁寧に説明され、活発な質疑応答の場面もみられました。また、学生および



三田先生 特別講演の様子



毛利先生 特別講演の様子



宮元先生 特別講演の様子

大学院生による口頭・ポスター発表では、界面科学を中心とした多方面の分野で学ぶ学生らが互いに議論を交わし、有意義な時間を過ごすことができたと思います。今後も、界面科学部会九州地区をさらに活性化させるため、研究者間交流や研究成果の発表の場として大いに本セミナーを活用していきたいと思っております。

なお、今年度のセミナーは福岡工業大学の桑原の世話役で開催させて頂きました。平成23度は長崎国際大学の柴田攻先生のお世話で開催される予定です。

(報告：福岡工業大学， 桑原 順子)



ポスター発表での議論



ポスター発表での議論



集合写真